

員会での議論を経て 当初予算を可決



▲詳しくはこちら！

当初予算や補正予算、
条例の制定など
24件を審議！！

3月3日

一般会計予算 **17億1,598万6,000円**を追加補正

町民栄誉賞受賞の費用を増額

功労者等表彰事業

ミラノ・コルティナオリンピックにてメダリストとなった堀川桃香選手が町民栄誉賞の対象となったことから、表彰の盾および副賞などの贈呈費用として、101万円を増額補正。

庁舎建設時の借入金を繰り上げ返済

長期債償還金元金

役場庁舎建設にあたり、借り入れた地方債（借入金）を繰り上げて返済するための6億6,977万2千円を増額補正。

今回の繰り上げ返済により、

- およそ1億3,000万円の利息の軽減
- 次年度以降の支払額軽減

が見込まれる。

企業版ふるさと納税の 好調に伴う経費の増額

北海道スペースポート資金調達促進業務

企業版ふるさと納税が当初の予算額を上回ったことに伴う、資金調達業務の委託料として1,960万円を増額補正。

農地整備の助成費用を増額

草地畜産基盤整備事業・再編整備事業

事業実施の追加割り当てを受け、草地整備をさらに推進するため4,703万7千円を増額補正。

計画の策定

次期「大樹町過疎地域持続的発展市町村計画」を策定

令和3年度から7年度までの現行計画が終了することに伴い、令和8年度から12年度までの計画を策定しました。

この計画は、国の有利な財政支援を活用し、大樹町のまちづくり事業を推進するための重要な枠組となるものです。

主な計画内容（抜粋）

※現行計画から引き続き、以下の事業などを推進します。

【産業の振興】

- ・創業支援事業
→町内で新たに事業を始める方を助成。

【生活環境の整備】

- ・マイホーム取得支援補助
→住宅を取得する方へ補助金を交付。

【教育の振興】

- ・大樹高等学校通学費等助成
→大樹高校に通う生徒の通学費などを助成。

【集落の整備】

- ・地域コミュニティ推進事業
→行政区で実施する地域ぐるみの活動に補助を行う。

令和8年
第1回
定例会

議案審議

3月3日~3月13日開催

予算審査特別委 令和8年度

令和8年度 当初予算可決！

歳入歳出予算総額
一般会計 97億7,100万円、
特別会計 20億1,090万円、
企業会計 24億7,290万円、
を承認しました。

会計区分(当初予算)		令和8年度
一般会計		97億7,100万円
特別会計	国民健康保険事業	6億6,130万円
	後期高齢者医療事業	1億4,230万円
	介護保険	7億3,160万円
	介護サービス事業	4億7,570万円
企業会計	水道事業	7億1,750万円
	病院事業	12億7,380万円
	下水道事業	4億8,160万円

\\ 知っておきたい令和8年度予算の主なもの //

北海道スペースポート整備事業

LC-1射場の整備工事や
スペースポートのPR業務費用
9億661万7,000円



津波避難タワー整備事業

浜大樹、旭地区に津波避難
タワーを建築する費用
11億1,876万3,000円



都市公園整備事業

柏林公園をリニューアルする
ための工事費用
1億8,240万円



高校支援事業

大樹高校入学生確保のための
シェアハウス整備費用など
9,818万9,000円



小中学校給食費負担

小中学校児童・生徒の
給食費を無償化
2,215万円



双葉町団地建設事業

双葉町団地の
実施設計費、解体工事費
2,280万3,000円



審査特別委員会



▲詳しくはこちら！

委員11名で徹底審議！！

可決しました。このページでは、委員会での質疑と答弁の一部を掲載しています。



経済常任委員会で調査を行った更生ふ化場

ふ化場修繕のために援助を行う考えは

問 播間 章浩 委員

不漁対策として漁業関係への更なる援助、支援が必要で、特に主力施設である更生ふ化場の飼育池の老朽化や修繕についての補助が必要と考えるが町の考えは。

答 黒川町長

施設の傷みは確認しているが、大樹漁業協同組合より改修の要望はまだ出されていない。要望があった際には、町としても補助ができるか考えていきたい。

少年団活動への更なる支援を行う考えは

問 船戸 健二 委員

少年団活動は地域の指導者の皆さんの熱意と善意によって支えられている。少年団の指導者確保や負担軽減を早急に検討し、善意に依存しない体制が必要であり、適正な報酬体制が必要と考えるが。

答 沼田教育長

少年団への補助をしているが、活動に係る部分について更なる支援を行うのは難しい。運営が苦しいということは聞いているので、教育委員会として支援できる部分については、今後も検討していきたい。

大樹町100周年に向け記念誌を作成しては

問 安田 清之 委員

大樹町100周年を迎えるにあたり町誌を作るべきと考えるが、準備と予算措置を進める考えは。

答 黒川町長

100周年記念誌の作成を検討中である。記念誌編さん委員会を立ち上げ、その中で十分議論したい。

公募学習が行われていない理由は

問 西田 輝樹 委員

生涯学習ネットワーク事業について、公募学習が数年間行われていないのはなぜか。

答 井上社会教育課長

ここ数年状況に変わりはないが、地域の方から要望があった際には公開講座を開催する。学びたい人が学べる機会を提供していきたいと考えている。

消防団員増加の取り組みを管内へ周知しては

問 志民 和義 委員

大樹町消防団は充足率100%を達成したが、要因となった取り組みと、管内全体の充足率について。また、町内で行った取り組みを管内全体に周知しては。

答 杉山総務課参事

町ホームページや広報紙への掲載、イベントでのPR、団員による勧誘がある。管内全体の充足率は約83%。管内の消防団員の募集事務は、とちかち広域消防全体で取り組んでいる。

表決の分かれた議案

※寺嶋委員長は表決に参加しません

議案名	播間章浩	寺嶋誠一	辻本正雄	吉岡信弘	西山弘志	船戸健二	杉森俊行	西田輝樹	安田清之	志民和義	菅敏範	結果
令和8年度大樹町一般会計予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決
令和8年度大樹町後期高齢者医療特別会計予算	○	—	○	○	○	○	○	○	○	×	○	原案可決

議会では、町政の実態把握、課題解決を目標とした所管事務調査を行っています。令和8年度は、郊外の公衆トイレの維持管理（総務）、町営牧場の現状と今後（経済）、漁業振興と水産資源の多角化（経済）の調査を行いました。



寺嶋 誠一 委員長

令和8年度予算

3月9日～3月12日開催

令和8年度の一般会計・特別会計・企業会計の8会計の予算について審議し、原案



町内唯一の高校である大樹高校



総務常任委員会で調査を行った公衆トイレ（尾田）

高校存続のため宇宙産業への関心を高める考えは

問 菅 敏範 委員

大樹高校の存続に向け、中学生・高校生の「宇宙デー参加、ロケット打ち上げ見学」等で宇宙事業への関心を高め、関連産業への就職を考えてはどうか。

答 黒川町長

高校にある宇宙サークルの活動をPRしていきたい。また、過去に行っていた宇宙関連施設への海外派遣も、実現に向けて議論していきたい。

道の駅活性化のための取り組みは

問 吉岡 信弘 委員

道の駅の検討状況は。また、道の駅の目玉商品として雪印に台湾パイナップルや、相馬の梨・桃の味のさけるチーズの製造をお願いできないか。

答 黒川町長

道の駅は施設老朽化のため、町が引き取り改修後に指定管理へ移行する方針。施設を町が引き取るにあたり、過去に商工会が活用した補助金の返還が必要かどうかの確認に時間を要している。道の駅の新商品については、取り扱い業者と確認しながら十分検討していく。

公衆トイレの今後の運用は

問 辻本 正雄 委員

公衆トイレについて所管事務調査で報告したが、その後の進捗状況と今後の検討状況は。

答 西尾住民課長

郊外公衆トイレの利用状況把握は難しい。令和8年度中に地域の意向など確認し、今後の運用を検討する。

答 藤谷農林水産課長

もいわ山森林公園利用者については、センサーカメラによる利用状況の把握を検討している。

防犯対策のために道の駅を明るくしては

問 西山 弘志 委員

道の駅の街灯がなく暗い。防犯上危険ではないか、利用者から改善を望む声が上がっている。道の駅の魅力アップに向け明るくするべきではないか。

答 松久企画商工課長

商工会と協議した際、特段支障がないのではということで今回の予算編成となった。再度商工会に話を聞きながら協議したい。

予 一 算 般 会 会 計 計

志民 和義 委員

滞納整理事務については、町職員が高い収納率を上げた結果、滞納整理機構へ委託しない予定となっている。そのため、滞納整理機構へ負担金を支出することなく、住民の事情をよく知る職員で解決できると考える。よって、本案に反対する。



会 医 後 計 療 期 予 特 高 算 別 齡 者 者

志民 和義 委員

後期高齢者医療制度は、発足当初から高齢者を区別するものであるとの批判が多く、それまでの老人保健制度による事業運営で問題がなかったと考える。このことから、後期高齢者医療制度の安定的運営にはならないと考える。よって、本案に反対する。



※今回、賛成討論はありませんでした。

町民の声を町政に届ける

西山 弘志 議員 P6

◎もいわ山森林公園の整備について



寺嶋 誠一 議員 P7

◎町の避難訓練について



志民 和義 議員 P8

◎国保税の子ども保険
除税免除または軽減の考えは



播間 章浩 議員 P7

◎メガソーラーの設置
規制および改良土の
利用規制について



吉岡 信弘 議員 P8

◎小中学校修学旅行費
と大樹高校見学旅行
費の助成等について



※内容は要約して掲載しています。
詳しくは、二次元コードより議会
中継をご覧ください。

◆一般質問とは◆

一般質問は、町の事務や事業に関して質問できる大事な議員活動の場です。

年4回の定例会に行い、臨時会ではできません。

・質問時間は30分

大樹町議会では、議員が質問できる時間は一問につき30分以内です。答弁に制限時間はありません。

・一問一答方式

議員と町長が対面して、一つ質問をして、一つ回答をします。

・事前通告

質問したい議員は、前もって質問内容を記した「事前通告書」を提出しなければなりません。

・登壇順（質問順）

原則として、通告書の提出順に質問します。

今後の公園全体の整備について

質問

答

新たな整備は予定していないが、公園のPRに努めたい



にしやま ひろし 議員
西山 弘志 議員

Q1 もいわ山森林公園の整備について

質問 昨年もいわ山森林公園展望デッキが完成し、雄大な日高山脈、太平洋、大樹町の町並みが一望でき、展望デッキから望む景観は圧巻です。今後の公園全体の整備について。

答（黒川町長） 現時点では公園内の新たな整備は予定していないが、今後、町内外の多くの方に訪れていただけるよう、展望デッキとあわせて公園のPRに努めたい。

質問 公園への案内標識が国道、道道3ヶ所あるが、看板の数が少ない。また、素晴らしいイラストが目飛び込んでこない。インパクトのある目立つ工夫が必要ではないか。

答（藤谷農林水産課長） 目立つような形でデザインされていると思うが、現地も確認して検討したい。

質問 初めて訪れる方にも公園全体を散策できるように案内板、看板が必要ではないか。

答（黒川町長） 公園全体の見取り図などについて、今後検討したい。

質問 萌和山中段に以前からあるもいわ山公園の看板は遠くからも見えていたが、現在は見えないため、修繕し復活できないか。

答（藤谷農林水産課長） あることは確認している。状況を確認の上、判断したい。

質問 現在のトイレでは児童・高齢者には対応が難しい。今後仮設トイレが必要ではないか。

答（黒川町長） 来客の状況を見ながら仮設トイレの設置を判断したい。

質問 町民の憩いの場として愛される公園に向けて、特色を生かした観光資源を活用し、観光客等の誘致にどのように取り組むのか。

答（黒川町長） 今後、町民からの声があれば整備し、安全・安心にくつろげる場所にしていく。

ここが聞きたい！ 一般質問



はりま あきひろ
議員 章浩

質問

メガソーラーの規制を！

答

6月議会目標に提案をしたい

Q1
メガソーラーの設置規制および改良土の利用規制について

質問 近年、全国各地においてメガソーラーの設置の問題が顕在化しており、大樹町においても自然環境の保護や住民の不安を未然に防ぐために、事後対応ではなく、条例による明確な規制と事前抑制の仕組みを整備することが不可欠であると考えますが、町の考えはどうか。

答 (黒川町長) 景観上の懸念など、町民から不安の声があることは認識しており、規制に向けた取り組みは必要と考えている。

質問 メガソーラーの設置については、ある程度町でもコントロールできる仕組みづくりが必要と考えるが、どのように考えているか。

答 (黒川町長) 住宅地の関係やその周辺の規制や住民説明会などの条件が必要と考えており、各町村の取組事例を参考に模索している。

質問 メガソーラーの設置と関連して造成盛り土に伴う開発により、土砂災害、農地や自然環境への影響、さらには不適切な改良土の持ち込みによる安全性、環境面の問題が顕在化しているが、改良土、再生土の持ち込み、利用規制条例の制定についてはどうか。

答 (黒川町長) 改良土、再生土の持ち込み、利用規制条例の制定については、令和7年4月から北海道においても盛り土規制法による規制を段階的に進めている。

質問 全国各地で改良土、再生土の利用を制限している市町村があり、町を守るのには町の条例であると感じているが、町長はどのように考えているか。

答 (黒川町長) 改良土などの持ち込みに対しては、今後情報収集に努め、改良土規制の必要性を検討したいと考えている。



てらしま せいいち
議員 誠一

質問

大樹町防災デーを実施してみても

答

防災意識向上のためイベント形式も有効かと考える

Q1
町の避難訓練について

質問 沿岸地域の地震・津波避難訓練だけでなく豪雨・豪雪災害に備え、大樹町全域の避難訓練を実施する考えについて。

答 (黒川町長) 令和8年度から大樹町全域を対象とした水害の避難訓練を順次に実施したいと考えている。

質問 時間の経過とともに避難所の変更があり大樹町の防災計画に基づく避難場所の周知について。

答 (黒川町長) 変更時は町広報紙・町ホームページで周知している。現在の指定避難所は38施設で、今後は洪水ハザードマップにおいて浸水が想定される施設や老朽化施設の除外・変更を考えている。

質問 Q-ANDIAアプリを活用して、災害発生時に避難場所への誘導はできないか。

答 (吉田総務課長) そのような機能はないが、web式のハザードマップで避難所が確認できる仕組みがあり、有効と考える。

質問 宇宙デーのようなイベント形式の「大樹町防災デー」を開催し、防災情報や防災訓練を実施してはどうか。

答 (黒川町長) 町民の防災意識向上や知識を深めることは必要であり、イベント形式での実施も有効と考える。浜大樹・旭の避難タワー完成後は、ヘリコプターによる避難訓練や物資輸送、二次避難の訓練も実施したいと考えている。

質問 外国人向けの避難訓練についてはどうか。

答 (黒川町長) 現在、大樹町には外国人の方は210名近くおり、B&G財団の補助を活用した「避難教室」を昨年2回実施している。

質問 高齢者や障がい者等の要配慮者支援体制の個別避難計画の進捗について。

答 (黒川町長) 対象者94名に対し、2月24日時点で55名分の個別避難計画を作成している。



よしかのぶひろ 議員
吉岡 信弘

小中学校修学旅行費と 高校台湾見学旅行費の 全額助成を

質問

答

中学校の旅行費用の一部助成を8年度予算計上

Q1 小中学校修学旅行費と大樹高校見学旅行費の助成等について

質問 少子化、人口減少、物価高、子ども子育て、大樹高校存続など非常に心配される状況にあり、その対策の一つとして次のことについて伺う。
大樹小中学校の修学旅行の費用・助成額と管内の助成自治体数。大樹高校の台湾見学旅行の助成の状況。

答 (沼田教育長) 費用は小学校2万5千円、中学校は6万5千円で、助成はない。高校は19万4千円、助成額4万5千円、令和7年度助成総額115万2835円。管内の助成状況は、小学校7自治体、中学校8自治体で、小中全額助成の自治体もある。

質問 小中学校修学旅行費、大樹高校の台湾見学旅行費用を令和8年度から全額助成する考えはあるか。

答 (黒川町長) 物価高騰によりホテル代が高くなっており、中学校の修学旅行費で5万円を超えた額を補助するため令和8年度予算に計上した。高校は既に国内旅行換算費用を超える額を補助している。小中高とも令和8年度からの全額助成は、恒常的な負担を伴い財源の確保が必要であり難しい。

質問 大樹高校の台湾旅費総額は約500万円。鹿追町はカナダへ約2週間、高校生70名以上を派遣し約4400万円を、足寄町は6泊8日で58名、約5400万円を令和7年度に予算化。令和8年度中の全額助成を検討してほしい。高校存続対策の一つとして、アメリカNASAの宇宙センターなどがある町へ高校生を短期留学させてはどうか。

答 (黒川町長) 台湾への助成のあり方については、今後検討したい。アメリカの宇宙センターなどがある町への高校生交流は、できる限りのことをしたいという思いはあり、今後詰めていきたい。

国保税子どもの 保険税免除・軽減

質問

答

保険税の町独自の免除・軽減は考えていない



したみかずよし 議員
志民 和義

Q1 国保税の子どもの保険税免除または軽減の考えは

質問 国保に加入している未就学児の均等割額が軽減されているが、子育て支援の観点から町独自で18歳までの子どもの保険税免除や軽減措置を拡大する考えはないか。

答 (黒川町長) 国保税制度の子どもの保険税軽減については国保法施行令改正によって令和4年4月から未就学児の均等割額の2分の1を軽減している。国の基準を超えて減免している自治体はある。国保税制度は令和12年度から全道で統一した保険税率にするよう進められ、減免についても道の示す基準に進められている。その中では新たな独自減免は実施しない、すでに実施している自治体は廃止・解消に努めるといふ方針が示されている。今のところ道の方針に基づき新たな独自減免は考えていない。

質問 子どもの均等割は、組合健保や協会けんぽにはない国保独自の制度であり、不公平感がある。現在、未就学児の均等割は国保会計で半額の51万円を公費負担しているが、残りも町が独自に負担してはどうか。

答 (黒川町長) 高校生までの軽減拡充は国の方でも令和9年4月からの実施が検討されている。その動向を見守りたい。

質問 国の制度設計であるため、町村会を通じて子どもの負担軽減を求めてほしい。

答 (黒川町長) 今後、十勝町村会・道町村会で足並みをそろえて要望していく。

第1回
臨時会

議案審議

2月3日開催



▲詳しくはこちら!

専決事項の承認、
補正予算の
2件を審議!!

一般会計予算 **8,727万円** を追加補正

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用

対象家電製品の購入費用を助成

物価高騰対応重点支援事業



エネルギー価格の高騰による負担を軽減するため、省エネ家電製品の購入に対する助成費用500万円を増額補正。

事業の概要

対象者：町内に住所を有し、自身が住む住宅に製品を購入する方。

対象製品：省エネ基準達成率100%以上の冷蔵庫、冷凍庫、エアコン。世帯ごと各種1台ずつ補助。

補助率：購入価格の2分の1。(町内で購入時は上限5万円、町外は3万円。)

— 委員会活動報告 —

経済常任委員会 | 所管事務調査 (1/28)

調査目的

漁業の現状と課題を把握し、持続可能な取り組みを明らかにする。

調査概要

- ・サクラマスの養殖事業の進捗、秋さけの稚魚育成の現状などを確認。秋さけふ化場やサクラマス養殖場を視察。

調査報告

- ・新通のふ化場は稚魚や卵の減少で休止中だったが、町の補助で養殖池を修繕し、稚魚受け入れを再開する見込み。
- ・更生ふ化場の老朽化は深刻で、飼育池も修繕が必要であるが手つかずのままとなっている。技術者の高齢化や不足も課題。
- ・サクラマス養殖事業は、漁業経営拡大を目的に取り組まれており、着実に生産性の向上に結びついている。本格的な事業化にはさらなる規模拡大が必要。一方、飼料価格の上昇や人材確保が課題。



新通さけ・ますふ化場



更生ふ化場

委員報告 (一部抜粋)

- ・更生の施設は老朽化が激しく、適切な稚魚の飼育に支障が出ているため、施設の修理が必要である。
- ・ふ化場の再開により、秋さけの回帰率が向上し、地域水産業の活性化が図られることを期待したい。

まとめ

- ・各施設の老朽化対策や人材育成の強化に向けて、町は漁業協同組合と連携し、必要な支援をしていくべき。
- ・サクラマス養殖事業については、事業の確立に向けて継続的な支援を行うことが重要。
- ・町においては将来を見据え、総合的に漁業活性化の対策を進めることを要望する。

会議・行事出席状況

○：出席 ×：欠席 △：病欠
 遅：遅参 早：早退 -：対象外

令和8年1月1日から3月31日までに行われた、会議や行事への出席状況をお知らせいたします。

行事については、議会へ案内のあったものを掲載しております。

開催日	会議・行事名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		播間	寺嶋	辻本	吉岡	西山	船戸	杉森	西田	安田	志民	菅	齊藤
1月 7日	第7回広報広聴常任委員会	-	-	×	○	-	-	-	○	○	○	○	-
	令和8年大樹消防団出初式	○	- *団員	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月11日	はたちの集い	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月14日	第8回議会改革に関する調査特別委員会	○	○	-	-	-	○	-	○	○	-	○	○
1月22日	議会運営委員会 行政視察	○	○	-	○	-	○	-	△	△	-	○	○
1月27日	議員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1月28日	第11回経済常任委員会 所管事務調査	○	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	○
2月 3日	第15回議会運営委員会	○	×	-	○	-	○	-	-	×	-	○	○
	第1回臨時議会	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	議員協議会	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
2月13日	議員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2月19日	南十勝複合事務組合定例議会	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
2月24日	第16回議会運営委員会	○	○	-	○	-	○	-	-	○	-	○	○
2月25日	一部事務組合定例議会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
3月 3日	第1回定例議会 1日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第7回総務常任委員会	-	○	○	○	-	-	○	-	-	○	○	-
3月 4日	第17回議会運営委員会	○	○	-	○	-	○	-	-	×	-	○	○
	第1回定例議会 2日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第8回広報広聴常任委員会	-	-	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-
3月 6日	第1回定例議会 3日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	第12回経済常任委員会	○	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	○
3月 9日	予算審査特別委員会 1日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3月10日	予算審査特別委員会 2日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3月11日	予算審査特別委員会 3日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3月12日	予算審査特別委員会 4日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
3月13日	第1回定例議会 4日目	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一目でわかる 審議結果



全会一致の議案

令和8年 第1回臨時会	専決処分した事項の承認	承認
	2月8日投開票の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行経費について、歳入歳出それぞれ820万2千円を追加する一般会計補正予算（第9号）を承認。	
令和8年 第1回定例会	令和7年度大樹町一般会計補正予算（第10号）	原案可決
	歳入歳出それぞれ8,727万円を追加。	
	大樹町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	原案可決
	地方公共団体情報システムの標準化に伴う、番号利用法第9条第2項に規定する条例の整備に基づく条例の一部改正。	
	大樹町職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決
	町立病院看護師、介護士、特別養護老人ホーム介護士の夜間勤務に支給する手当を、宿直手当から夜間勤務手当へ見直すことによる条例の一部改正。	
	大樹町多目的航空公園条例の一部改正	原案可決
	多目的航空公園の管理運営の変更による条例の一部改正。	
	大樹町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の発令による、条例の一部改正。	
	大樹町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	原案可決
	こども誰でも通園制度の給付化に伴い、事業者が給付を受けるための運営基準等を定めることによる条例の制定。	
	大樹町給水条例の一部改正	原案可決
	災害やその他非常時における給水装置工事の対応について、国の通知に基づく条例の一部改正。	
	大樹町過疎地域持続的発展市町村計画の策定	原案可決
	移住定住、地域間交流の促進、産業の振興など各種施策に取り組み、持続可能な地域社会を形成するため、令和8年度から新たに5年間の計画を策定。	
	町道路線の認定	原案可決
	町道と同様に維持管理を行っている2路線を認定。	
令和7年度大樹町一般会計補正予算（第11号）	原案可決	
歳入歳出それぞれ17億1,598万6千円を追加。		
令和7年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	原案可決	
歳入歳出それぞれ4,168万円を追加。		
令和7年度大樹町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	
歳入歳出それぞれ321万8千円を追加。		
令和7年度大樹町介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決	
歳入歳出それぞれ2,817万6千円を追加。		
令和7年度大樹町介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	
歳入歳出それぞれ2,870万8千円を減額。		
令和7年度大樹町水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決	
収益的収入を96万8千円、収益的支出を300万5千円減額。 資本的収入を42万2千円、資本的支出を242万7千円減額。		

次のページへ続く

令和8年 第1回 定例会	令和7年度大樹町立国民健康保険病院事業会計補正予算（第2号） 収益的収入・支出を128万円増額。 資本的収入を112万4千円、資本的支出を239万7千円減額。	原案可決
	令和7年度大樹町下水道事業会計補正予算（第2号） 収益的収入を1,417万6千円、収益的支出を464万7千円減額。 資本的収入を1,104万4千円、資本的支出を2,152万3千円減額。	原案可決
	令和8年度大樹町一般会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ97億7,100万円とする。	原案可決
	令和8年度大樹町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ6億6,130万円とする。	原案可決
	令和8年度大樹町後期高齢者医療特別会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億4,230万円とする。	原案可決
	令和8年度大樹町介護保険事業会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億3,160万円とする。	原案可決
	令和8年度大樹町介護サービス事業会計予算 歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億7,570万円とする。	原案可決
	令和8年度大樹町水道事業会計予算 収益的収入を4億5,632万9千円、収益的支出を4億6,292万8千円とする。 資本的収入を4,967万8千円、資本的支出を2億5,457万2千円とする。	原案可決
	令和8年度大樹町立国民健康保険病院事業会計予算 収益的収入・支出を11億2502万円とする。 資本的収入を1億4,743万円、資本的支出を1億4,878万円とする。	原案可決
	令和8年度大樹町下水道事業会計予算 収益的収入を3億2,680万8千円、収益的支出を3億2,322万9千円とする。 資本的収入を4,966万5千円、資本的支出を1億5,837万1千円とする。	原案可決

YouTubeで議会中継をご覧いただけます！

本会議や予算・決算特別委員会はライブ中継しています。
ライブ中継を見られない場合でも、録画中継をご覧いただけます。
スマートフォンやタブレット、パソコンなどで気軽に議会の傍聴
できますので、ぜひご利用ください。
大樹町議会チャンネルをチャンネル登録すると、ライブ中継や
録画中継が公開される際に通知を受け取ることができます。



広報広聴常任委員会



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
辻本	西田	安田	菅	志民	吉岡
正雄	輝樹	清之	敏範	和義	信弘

編集後記

長い十勝の冬が終わり、大樹の大地にも春の息吹が感じられる季節となりました。町内では新入学生・新学年となったお子さんたちが、期待にあふれた元気な姿を見せてきています。議会だよりは、町民の皆さまと議会をつなぐ大切な架け橋です。より分かりやすく、親しみやすい紙面づくりを目指し、編集委員一同工夫を重ねて制作しております。お気づきの点やご意見がございましたら、お気軽にお声をお寄せください。

委員 安田 清之